

2014年  
あなたはなにを  
頑張りますか？  
(右下を見てね)

02 対談特集

「弦の華麗なる響き」  
— 大音で弦を学ぶ —  
久合田 緑教授 / 上塚 憲一准教授  
森下 幸路特任教授 / 北口 大輔講師

04 音楽と生きる

木村 悦子さん  
(トロント交響楽団アシスタントコンサートマスター)  
大浜 敬生さん  
(株式会社「美ら音工房コーゼフ」大阪店長)



詳しくは  
P15を  
見てね

スマホを  
かざすと  
しゃべり  
だす!?

「ON-AR」

スマホで動画が見れる!?

CONTENTS

08 大音生リアル  
留学生編

10 NEWS Index  
・研究室訪問  
・Daion Report  
・大音生なら必ず聴き  
たい「100曲」中村孝義  
(音楽学・理事長) 他

12 Concert Report  
・ピーター・グライムズ 他

14 CAMPUS  
Information

15 演奏会  
Information  
12月～3月

16 ・下手の考え  
休むに似たり  
～学長日記～  
・教員リレーエッセイ  
高橋 徹  
(教養教育・准教授)

09 キラリ★輝く  
大音の星  
・コンクール受賞 他

特集 弦の華麗なる響き

# 大音で

# 弦を学ぶ

今年度より森下幸路特任教授、北口大輔講師を迎え、さらにパワーアップし、新体制となった大音の弦楽器専攻コース。レッスンの授業の特長や大音ならではのメリット、将来の展望について久合田緑教授、上塚憲一准教授と新任教員を含めた4人で熱いトークを繰り広げていただきました。

## ヴァイオリン 森下 幸路

Kouji Morishita  
桐朋学園大学卒業。シンシナティ大学にてドロシー・ディレイ氏に学ぶ。安田謙一郎カルテットを経て小林道夫氏とL.v.ペートン・ヴェン「ヴァイオリンソナタ全曲シリーズ」や福田進一氏との全国ツアー、仙台フィルコンサートマスターなど多数の活動を行う。現、大阪交響楽団首席ソロコンサートマスター。大阪音楽大学特任教授。

## チェロ 上塚 憲一

Kenichi Kamizuka  
京都市立芸術大学音楽学部音楽学科卒業。テレマン室内管弦楽団、コレギウム・ムジクム・テレマンの首席チェロ奏者およびオーケストラ・ディレクターを経て明石フィルハーモニー管弦楽団演奏委員、明石フィルハーモニー管弦楽団・ジュニア・オーケストラ常任トレーナーを務める。大阪音楽大学准教授。



## 伸びる可能性を大きく秘めた学生たち

**上塚** 久合田先生は6年目、森下先生と北口先生は今年4月に着任されたばかりですが、大音弦楽器専攻の雰囲気はいかがですか？

**久合田** さまざまなレベルの学生がいますが、多くは18歳で入学すると考えると、まだまだこれから伸びる「のびしろ」を持った大きな可能性を秘めた人が多いと思います。

**森下** 大音で教えることになって、改めて自分でも勉強し直しているくらい新鮮な気持ちで教育に向かっています。学生たちはまだ成長途中にあり、いかにそこから伸ばしてあげられるか、教えることがおもしろくて仕方ない、そんな雰囲気があります。

**久合田** 大音はいい意味で技術的にさまざまレベルの学生が入ってきます。だからこそ私たち教員の教えがいというか、学生をいかに伸ばしてあげられるか、にかかってくる。「こんなに変わるんだ」というくらい劇的に上達する学生もいます。入学してから基礎をやり直す必要があったとしても、そういう人はなおさら、卒業する頃には大きく伸びる可能性がありますね。教える側としては大変おもしろいと思います。  
**北口** 大学全体が明るいですね。元来、チェロを演奏する人は明るくおおら

かな人が多いのですが(笑)、学内でもライブルというよりある意味みんな仲間同士という感じ。「一緒に上手になろうよ」という雰囲気が強いです。

**久合田** 受験ではなんとか入学できたというレベルの学生も、実は驚くほどの能力を持っていたりします。いかに伸びていくか、は偏差値では計れませんよね。

**北口** 学生一人ひとりの個性が強い。だからこそ同じ教え方は通用しないのです。僕も教えていて非常に楽しいです。

**森下** オケで弾く場合、まず出身大学名などは全く関係ありません。大切なのは「弾けるかどうか」のみ。卒業までにいかに実力をつけ、現場に出た時に通用するか。それが大切なのです。だから入学時点はどうあれ「のびしろ」が大きいことは大いに得です。

## 充実したアンサンブルの授業

**上塚** 授業はいかがですか？ 大音は室内楽やオーケストラの授業が充実していることが特長です。

**北口** チェロは、卒業したらソロよりアンサンブルで弾く機会の方が圧倒的に多くなります。だから、学生時代から室内楽をじっくり学べることは大変ありがたい環境だと思います。  
**久合田** 大音での室内楽・アンサン



## 「第11回 ザ・ストリング・コンサート」を開催

10月27日(日)、ミレニアムホールにて「ザ・ストリング・コンサート」を行いました。上塚憲一准教授指揮、大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部の弦楽器専攻生による弦楽合奏で、P.I.チャイコフスキー「フィレンツェの思い出」(弦楽合奏版)など4曲を演奏。レッスンや授業の成果を披露する場として年に1回開催しています。



ブル教育の充実度は他大学と比べても抜きん出ていると思います。クアルテットに関しては現在3年次から履修できるのですが、できるだけ若い頃からアンサンブルに触れることは大切なので、将来的には2年次、1年次から選択できるようにしたいですね。

**北口** まだ室内楽に参加するだけの実力がついていかなかったとしても、聴くだけでもいい。参加してその場にいないだけでも随分違ってくるはずですよ。

**森下** 弦楽器の人間にとって、オーケストラで弾くことは「生きていく術」とさえ言えますからね。

**上塚** 大音には「学生オペラ」があり、オケもすべて学生が担当します。4年間参加すればモーツァルトの4大オ

## チェロ 北口 大輔

Daisuke Kitaguchi

17歳で関西フィルハーモニー管弦楽団とサンサーンスの協奏曲でデビュー。東京芸術大学音楽学部、同大学院修士課程修了。東京都交響楽団チェロ奏者、九州交響楽団首席チェロ奏者を歴任し、2011年より日本センチュリー交響楽団首席チェロ奏者に就任。また、2013年までは九州交響楽団首席客演チェロ奏者も同時に勤めた。大阪音楽大学講師。



## ヴァイオリン 久合田 緑

Midori Kugota

東京芸術大学音楽学部附属高校を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科入学。在学中にロックフェラー3世奨学金などを受けて渡米。ジュリアード音楽院ディプロマ・コースで学びインディアナ大学音楽学部卒業。現在、ソリストとしての活動の他に、ジャパン・ストリング・クアルテットのメンバーとしても演奏活動とマスタークラスなどを行っている。大阪音楽大学教授。

## 素晴らしい環境と 関西パワーの効用

ペラがすべて経験できるといのは大きいですね。

**森下** アンサンブルは大切です。ここではオーケストラとストリング・コンサートに学生オペラ、と出演できる演奏会も多く、学べる機会も多いですね。

**久合田** あとはやる気の問題(笑)。私たち教員がいかに学生のやる気と能力をうまく引き出してあげられるか。素材は良いものを持っている人が多いいのですから。

**上塚** 校舎や施設に関してはいかがですか？

**久合田** 本当にキレイな大学なのでびっくりしました。廊下にゴミ一つ落ちていないし、レッスン室だってピカピカ。ゴミ箱にゴミがたまっていたことなんて一度もありません。こんなにキレイな学校に出会ったのは初めてです。

**北口** 自動ドアも整備されていますよね！

**上塚** チェロを抱えてさらに両手に荷物を持っている時なんかすごく助かります。

**森下** トイレがものすごくきれいで感激しました。本当に掃除が行き届いている。

**北口** 環境って大切ですよ。ザ・カレッジオペラハウスとミレニアムホールという素晴らしい音響のホールが2つもあるなんてなかなかないですよ。設備が非常に素晴らしい大学です。

**上塚** では、弦楽器専攻の今後の展望をお願いします。

**森下** 関西のパワーってすごいと実感しているので、ぜひ関西にある音楽系の大学間で交流できないかなと思ってます。オケや室内楽の授業をそれぞれのキャンパスで勉強できたらおもしろいことができそうですね。

**久合田** かつて岩崎洗先生(現・大阪音楽大学客員教授)らが企画・主宰した「沖繩ムービー・チミュージック・キャンプ&フェスティバル」というのがありました。これは若手演奏家を対象とした室内楽の集中レッスンとコンサートの催しで、厳しいオーディションに合格した人が参加できるもの。私は指導者として、森下先生は生徒として参加しましたが、そこでさまざまな大学の学生たちの交流があったのです。このことがきっかけで東京の音楽系大学は非常に活性化しました。関西の大学が集結してポスターレスになったら、間違いなく大きなパワーが生まれるはずですよ。

**北口** 僕の両親も大音出身。関西パワーは期待できますね。

**上塚** 大音の弦がますますおもしろくなっていきそうな予感がします！

# ヴァイオリンを 弾いている時は いつも幸せ

## 演奏家として 忙しくも充実の日々

トロント交響楽団は43週間のシーズンで、毎週がいわゆる定期演奏会的なものです。ポップスコンサートシリーズやエデュケーションコンサートもこの43週間の中に含まれ、大体同じプログラムで2、3回の演奏会があります。時には、1週間に2プログラムをこなすこともあり、定期演奏会が水、木とあつて、そのほかライトクラシックコンサートや特別コンサートも。非常に忙しいオーケストラですが、その他に「オンタリ

オフィシャルハーモニー」というオーケストラのコンサートマスター、「G27」という室内合奏団のコンサートマスターも兼任しています。こちらは年に数回の演奏会があり、また自分のソロ活動や室内楽のコンサート活動、そしてトロント大学で教えたりもしています。

もともとが音楽オタクなので舞台

にいる時はいつでも楽しい。トロント交響楽団には、学生の頃CDでしか聞いたことなかったような素晴らしいヴァイオリニストやピアニストがソリストとしてやってきます。そんな方々の演奏からいただくインスピレーションは、言葉では言い表せません。ヴァイオリンを弾いているときはいつでも幸せです(笑)。

## 木村悦子

トロント交響楽団アシスタントコンサートマスター

### ●きむら えつこ

91年大阪音楽大学器楽学科卒業。同大学院修了後、カナダトロント大学に留学。トロント交響楽団アシスタントコンサートマスター。トロント大学非常勤講師、inter provincial music camp等講師、トロント交響楽団ユースオーケストラの指導等、後進の育成にも力を入れている。ヴァイオリンを故吉永清子、北浦洋子、宗倫匡、故東儀幸、Lorand Fenyves、David Zaferに、室内楽を岡田信夫の各氏に師事。





## 素晴らしい恩師と友人に 出会えた大音時代

父は大阪市音楽団の指揮者、母はヴァイオリンの教師をしていましたので、物心ついた時にはまさにヴァイオリンを「弾かされていた」という感じ。ですからヴァイオリン以外の楽器をやってみたくて仕方がありませんでした。家で勝手にピアノを弾いたり、小学校では音楽クラブに入ったりフルートやクラリネットを吹いたり、合唱団で歌ったり。高校生のときはお琴のクラブにも入りました。

高校生になって、のちに大学時代もお世話になる北浦洋子先生に出会い、ヴァイオリンが大好きになりました。レッススが楽しくて、私の中の音楽をやりたい気持ちと「それのヴァイオリンで表現していいんだよ」という気持ちを本当に上手に引き出してくださった先生。心が解放されたというか、ヴァイオリンで自分を表現する方法を私に教えてくださって、虜になってしまいました。それからヴァイオリン一筋(笑)。

実は父も母も大音出身。大学は東京に行ってみたくて思ったことも正直ありましたが、最初から父親に釘を刺されたのです。「音楽を選ぶお前にはお金をかけてやりたいけど、姉弟には平等にしないといけない。東

京までレッスンに行かせたり、下宿させたりとお前のためだけにお金を使うということはできない。できる奴はどこでも勉強できる」と。そうして入学した大音では、その後の人生にもかけがえのない存在となる恩師や友人たちに巡り会えた素晴らしい学生時代を送ることができました。

幸いにも宗倫匡先生の門下生になることができたので、レッススがそれよりも待ち遠しくて。学内でも弦楽器の学生全員を集めて、先輩である加藤完二先生に指揮をしていただいた弦楽合奏の演奏会を開いたり。また、加藤先生のおかげでオペラ研究会の発表会などに有志のオーケストラで出演してコンマスやらせていただいたこともあります。コンチェルトも何度か弾かせていただいたりして、充実の学生時代でした。

## 弦楽合奏を ずっと続けていきたい

卒業後、トロンボ留学中にカナダ人の今の主人と出会い、結婚。子育て中はヴァイオリンから離れてしまった期間もありましたが、2人目を出産後、少しずつ演奏活動に復帰しました。下の子が小学校へ上がると同時にトロンボ交響楽団のアシスタントコンサートマスターの募集を見つ

け、オーディションを受けて合格。現在のポジションを得ることができました。

幼少時代から学生時代を顧みて、私はなんと師に恵まれていたんだろうとつくづく思います。先生との関係はとても大事だと思います。どの先生方にもそのとき必要なものをしっかりと受け渡していただき、伸びるところまで伸ばしていただき、忍耐強くあきらめないで教えていただきました。本当に感謝の気持ちで一杯で、言葉ではとても言い表せないほどです。友人もそう。私は個性の強い人間ですので、かなり人さまにご迷惑をかけていたのではないかと思うのですが、そんな私を理解してくれた友人たちには、本当に感謝しています。

今夏に、学生時代の友人に再会して「また弦楽合奏をやりたいねえ」という話で盛り上がりました。海外在住の卒業生や海外で活躍している弦楽器奏者、そして日本で活躍している大音卒業生などに声をかけて、七夕さんのような、年に一回会える仲間コンサートみたいなものができるのかなあと話しています。年おいてもずっと続けられるようなものにするのが夢。ぜひ実現させたいです！



▶憧れのイツァーク・パールマン氏(前列左)と(2列目中央が木村さん)



◀オーケストラ本番直前の様子

## 責任もあるけど やりがいは大き

「美ら音工房ヨーゼフ」大阪店は天満橋駅にほど近いビルの9階。窓からの景色が素晴らしいところですが、お店はギャラリー兼工房になっています。お客さまとはゆっくりお茶を飲みながらお話をし、じっくりと楽器を見ていただける環境をつくっています。私は店長を任されていますのでそれだけ責任もありますが、やりがいは大きい。「息で音を出す」楽器に目覚めて以来、その形から素材、音、すべてがおもしろくて仕方がありません。ずっとやりたいと思っていた仕事に就けて、毎日楽しく働いています。ヨーゼフではオーボエとクラリネット、ピッコロを製作しています。部品はすべて沖縄工場で作り、大阪や東京に送られます。ここ大阪では「組み立て」と「検品」という重要な役目を担っています。海外ではすでに多くのプロの演奏家に使っていただいているヨーゼフ製の楽器ですが、日

# 大浜 敬生

株式会社「美ら音工房ヨーゼフ」大阪店長

本ではまだまだ新進気鋭のメーカー。これからもっともっと普及してほしい。そのために努力を重ねていかなくは、と決意も新たにしています。

## 「木」の素材の クラリネットに夢中

物心ついた時から家にピアノがありました。母に聞くところによると小さい頃からピアノは僕にとつてオモチャ代わりだったそうです。歌うことも大好きで、保育園では毎日新しい歌を覚えて歌っていました。「この子は本当に音楽が好きなのね」ということでさっそくピアノを習いに行かせてもらいましたが、実は人から教えられるのが大の苦手。レッス

ンは全く続きませんでした。自分勝手に自由に弾いていた性格だったようです。

小学校には金管バンドがあり「体が大きいから君はテューバをやんなさい」と先生から言われるままに管楽器を始めました。初めて吹いた管楽器には興味津々。電気もなにも使っていないのにすごく大きな音がすることが不思議でなりません。中学になるとさっそく吹奏楽部に入部。担当楽器はトロンボーンでしたが、「ちょっと吹かせて」と友人から他の楽器を貸してもらい、すぐに吹けるようになってしまったのが得意。実は中学校に入って初めて見た木管楽器、特に木の素材のクラリネットが一番興味をそそられる存在でした。しか

## 完成したばかりの楽器に 「息を入れる瞬間」の 緊張感がたまりません

●おおはま たかお  
2000年大阪音楽大学器楽学科卒業。クラリネットを上原謙、藤井由香の各氏に師事。05年ヤマハ管楽器テクニカルアカデミー卒業。08年株式会社美ら音工房ヨーゼフ入社。現在大阪店の店長。



シクラリネットは全員女子。まさか吹かせてもらうわけにもいかず(笑)お小遣いを貯めてとうとう自分で買ってしまいました。学校ではトロンボーン、家ではクラリネットを吹く日々。この頃から木管楽器にのめり込んでいきました。吹奏楽部には年に1度、楽器修理の方が来てくれていたのですが、その方の作業を見ているのがおもしろくておもしろくて。この頃には自然と演奏家より技術者を目指し始めていました。

## 楽器作りには 興味が尽きません

将来の夢は「プロの演奏家の楽器も修理できるような技術者」。大音での4年間は演奏技術を磨きながら卒業後の準備を着々と進めました。当時大音のすぐそばに、学生が交代でアルバイトをしていたお弁当屋さんがあったのですが、昼間の授業がない時間はここで、夜はファミリーレストランと居酒屋でアルバイトをしました。大学近くの庄内のアパートに暮らしていましたから、大学とアルバイトと銭湯に通う毎日(笑)。レッスンや授業はとても充実していましたし、途中「演奏家になったらいいな」と少し心が揺らくことも。でも、周りには僕より優秀な学生がいくら



でもいましたので、自分の実力を思い知ったというか現実を見せつけられたような気持ちになったこともありました。やはり自分には演奏家より技術者の方が向いているのではなにか、と改めて決意を固くした学生時代でもありました。

卒業後は地元で就職し、3年間でとにかくお金を貯めて念願の楽器修理技術者養成の専門学校へ入学。1年間みっちり勉強して大阪の楽器店に無事就職できましたが、働いているうちに地元沖繩で楽器工房ができたと聞いて「美ら音工房ヨーゼフ」へ転職。現在は3年前に大阪店ができたタイミングで再度大阪へやって来ました。大阪での生活は手馴れたもの。第二の故郷のような気持ちで大

阪生活を楽しんでます。

僕の場合は比較的早い段階で進路を決め、それに向かってひと筋にきました。今も楽器作りに興味は尽きません。現在は演奏活動は全くしていませんが、検品の際に完成したばかりの楽器に息を入れる瞬間はいつも緊張します。思い通りの音が出るかと手前味噌ながら「いい音するな」って(笑)。

僕の経験からいって、これまでやってきたことは今の仕事にとつて無駄なことは一つもなかったと感じています。何が自分に向いているかわからない、という人も、とにかくなんでも経験してみることをおすすめします。きつと自分に合う仕事はあるはずですよ。



◀大音生時代の  
大浜さん。クラ  
リネットへの愛  
情はこの頃も  
今も変わらない

▶左からヨーゼ  
フ製のピッコ  
ロ、クラリネット、  
オーボエ



▲細かい部品を一つ一ついいに組み立てます





**AM9:00**

**練習室予約**

家から大学まで徒歩3分。普段は家での練習がメインですが、時々大学でも練習します。今日は午後からピアノを練習するため予約しました。



**AM9:30**

**ヴァイオリンレッスン**

赤松由夏先生は1つの音の出し方にもとてもこだわりがあり、丁寧に何度も何度もわかるように教えてくださいます。本当に素晴らしい先生！



**PM2:00**

**P号館で練習**

朝に予約しておいたP号館でピアノの練習。毎日3時間は練習時間を確保したいと思っています。今は実技試験のための練習を始めています。



**PM0:45**

**自宅でランチタイム**

日本の食事は食べられないものが多いので、ランチはいつも一度家に帰ってから自分で作って食べています。パソコンの前のこのデスクが定位置。



**PM4:00**

**日本語の勉強**

日本語能力試験の受験を続けていて、時間を見つけては勉強をしています。今日は授業後に図書館で勉強中。日本語はおもしろいけど難しい！



**PM9:00**

**自宅で練習**

防音室を完備した自宅では夜遅くまで練習が可能。恵まれた環境に感謝！自分の演奏に納得がいかない時は練習が深夜に及ぶことも。



ナビゲーター  
大1・ヴァイオリン  
スドガングネシさん

**大音生リアル 6**

大音生のライフスタイルなどありのままをご紹介します。

**留学生 編**

トルコで生まれ育ち、今年の春に念願の「日本の音大生」となった彼女。子どもの頃からずっと憧れていた日本への留学を果たし、現在は専攻であるヴァイオリンと日本語習得に邁進中。夢の実現のためには努力を惜しみません。将来の夢は「世界的なヴァイオリニスト！」という彼女の学生生活をご紹介します！

**幼**

い頃から、音楽好きの両親には毎週のようにクラシックコンサートへ連れて行ってもらっていました。そんな中で見たヴァイオリニストに憧れて「私もヴァイオリニストになる！」と決意。両親を説得して習いに行かせてもらいました。同時に、アニメなど「日本」の文化に強く惹かれていた私は「いつかは日本に行ってみよう！」と思っようになり、高校卒業後、日本でヴァイオリンの勉強をするため念願の来日。憧れの「日本の音大生」になるため、全力で日本語を習得し、現在は大阪音楽大学弦楽器専攻1年在学中。トルコに比べ、日本の音楽大学のレベルはとても高いですが、なんとか早くみんなに追いつけるようにと練習を頑張る毎日です。周囲の人には「難しい」と言われても、これからも「根性」で夢を実現させていきたいです。

**私のリアル**

**得意のトルコ料理で  
自炊生活満喫中**

日本が大好きで日本に来ましたが、日本の料理だけではどうしても食べられません。だから学食にも行けないし、お友達と食事に行っても食べられるものが少なくて迷惑かけているかも、と少し心配。

お料理が好きなので、ほとんど自炊しています。トルコの料理は日本と大きく違うので、友人にご馳走すとびっくりされることも多いです。例えば塩味のヨーグルトのスープは日本では絶対ないけど、本当においしいです。写真は「メルジメック」という豆の料理。甘くないぜんざいのようなものでしょうか。圧力鍋で大量に作っておいて、温めるだけで食べられるように冷蔵庫にストックしています。



お料理大好きです

▲自作のメルジメックとサラダのランチ



○月△日  
**ピアノのレッスン**

中尾園子先生は優しくてステキな先生。ピアノのレッスンは楽しいけどもっともっと練習しないと！

**Column**

**大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部への  
留学を希望する方へ**

本学では留学生入学試験を年2回実施しています。入学試験科目は①専門実技課題②日本語作文③日本語会話（面接）の3つ。出願希望の方に対し、事前に出願資格・要件の確認を行います。提出書類などはすべて日本語で対応していただけることなどが条件となります。

詳しくは入試センター(TEL:0120-414-015 FAX:06-6336-4428)へお問い合わせください。





## 祝! コンクール受賞

各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介

### 第35回阪神ジュニア音楽コンクール 自由曲部門一般の部 金賞

2013年7月30日(ピッコロシアター)

今回、初めてリストを弾かせていただきました。表現しきれぬのだからかと少し不安ではありましたが無事受賞することができ、とても嬉しいです。ご指導いただきました土井先生に深く感謝しております。



水元 靖香  
(12年・大卒・ピアノ)

### 第35回阪神ジュニア音楽コンクール ピアノ部門チャイコフスキーの部 金賞

2013年7月30日(ピッコロシアター)

チャイコフスキーのさまざまなピアノ曲に触れる機会を得ることができました。今回このような賞をいただけて大変嬉しいです。ご指導くださった土井緑先生、支えてくれた家族や友人の皆様へ感謝いたします。



角 悠子  
(11年・大卒・ピアノ)

### 第13回ノヴィ国際音楽コンクール 声楽部門一般の部 第2位(1位なし)

2013年8月17日(京都市国際交流会館)

最高位をいただけたことはとても光栄です。緊張しましたが、曲の世界を自分なりに表現できたと思います。周りの皆さまに感謝することを忘れることなくこれからも決しておごることなく精進して参ります。ありがとうございます。



伊藤 友祐  
(大4・声楽)

### 第7回全日本芸術コンクール ピアノ部門音楽大学の部関西本選 第1位

2013年8月24日(うはらホール)

このような結果を残すことができ、大変嬉しく思います。本番では程よい緊張感の中、楽しんで演奏することができました。今後も何事にも挑戦し、たくさんの方で演奏していきたいです。



大谷 知美  
(大専・ピアノ)

### 第2回日本のうたコンクール2013 声楽部門 第1位、大阪府知事賞

2013年8月25日(イシハラホール)

作曲家が楽譜に書ききれなかったことを見つけてほしい……と審査員の鈴木先生より講評をいただきました。これまで学んだ音楽に加え、自分の心や曲の持つ力を、皆さまに届けられる歌い手になるよう、精進したいと思います。



中川 正崇  
(05年・院卒・声楽)

### 第2回日本のうたコンクール2013

#### 声楽部門 第3位

2013年8月25日(イシハラホール)

特別審査員の伊藤京子先生の「私達の歌、私達の言葉ですよ」とのお言葉が心に残りました。このような賞をいただきましたことを大切に思い、ベルカント唱法の追求の中で、日本歌曲を捉えていきたいと思っております。



喜多 美幸  
(94年・大卒・声楽)

### 第24回堺ピアノコンクール

#### F部門大学生・一般の部 山田康子賞

2013年9月1日(桐文文化会館)

余裕を持って自分の音をよく聴くことを意識しました。2次審査で演奏したリストのハンガリー狂詩曲第15番は、弾くたびに好きになる曲。このような賞をいただけて光栄です。これからも日々成長していきたいです。



須惠 夏美  
(大2・ピアノ)

### Topics 活躍する在学生&卒業生

#### 「全日本吹奏楽コンクール」

#### 課題曲に採用

#### 卒業生の合田佳代子さん(95年院卒・作曲)



「全日本吹奏楽コンクール」の2014年度の課題曲に卒業生の合田佳代子さんの作曲した「[斎太郎節]」の主題による幻想」が決定しました。合田さんは大学院を卒業後、教育助手(現在は「演奏員」として主にピアノ伴奏を中心に活動、5年ほど前にピティナ(一般社団法人全日本ピアノ指導者協会)の課題曲作曲募集に応募し、出版されたことをきっかけに作曲活動を積極的に再開。伴奏者として、管楽器の演奏者との交流も多かったことから吹奏楽曲の作曲にも挑戦し、今回の採用に至りました。

「私自身が阪神・淡路大震災を体験しましたので、東日本大震災の際には「音楽でなにかできないだろうか」と強く思いました。宮城県のみ「斎太郎節」を取り上げることで、全国で演奏されるきっかけができたことは本当に嬉しい。作曲は、作品が世に出ない限りなかなか成果も見えにくいため根気が必要ですが、このように多くの人々の耳に触れるきっかけとなる作品を書けたことは大きな励みになります。」

なお、課題曲の楽譜、CD、DVDは2014年1月に全日本吹奏楽連盟のHPで発売予定。

## NEWリリース 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などをご紹介



八田 惇(元教授)  
「アルフレッド・コルトー版  
リスト『ハンガリー狂詩曲第6番』  
「ハンガリー狂詩曲第2番」  
(全音楽譜出版社)  
3000円(税抜)

全国の楽譜販売店、amazon、他



坂本 千代/  
加藤 由紀(非常勤講師)  
「ジョルジュ・サンドと  
四人の音楽家」  
1700円(税抜)

全国の書店、amazon、他



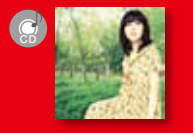
青柳いつみこ(教授)  
「アンリ・バルダ  
神秘的ピアニスト」  
2200円(税抜)

全国の書店、amazon、他



青柳いつみこ(教授)  
「ミンストレル」  
2500円(税抜)

全国の書店、amazon、他



竹中 睦(音楽院講師)  
「星のキャンパス」  
1000円(税込)

全国のCDショップ、webショップ、amazon、他

20世紀を代表するフランスのピアニスト、アルフレッド・コルトー。彼の豊かな経験に基づいて校訂した「コルトー版」は、83年に音楽評論家・遠山一行先生のお導きで日本語版を出版して以降30年。ショパン全19冊を含め30冊になります。どうぞピアノの勉強の参考書としてお使いください。

ショパンの愛人として知られているジョルジュ・サンドは、多くの芸術家との交流をとおして彼女の芸術観を形成していきました。文学研究者と音楽研究者とのコラボである本書は、4人の音楽家とサンドとの関わり、そしてそれぞれの作品の考察を通じて「音楽こそが最高の芸術である」というサンドの思想について考えるものです。

1941年、アルゲリッチと同年生まれながら無名の実力派の10年間を追った書。エジプトのカイロに生まれ、19世紀ヨーロッパのよき伝統を受け継いだ希有な存在として、その演奏解釈や技巧を詳細に解説しています。とりわけ、ジェローム・ロビンソン振付のバレエ・ピアニストとしての活動が、演奏に躍動感と自在さを与えています。

ハリ音楽院教授クリストフ・ジョヴァニネッティとのデュオで2013年3月にバリ音楽院で収録しました。「ミンストレル」はドビュッシーの前奏曲を作曲家がヴァイオリンとピアノのために編曲したもの。ドビュッシー未完のスケッチをイギリスの音楽学者が補完した「セレナーデ」などの小品に、ピエルネ、フォーレ、ドビュッシーの「ソナタ」を配しています。

今までにリリースしたJAZZアルバム5枚の中から、ライブでの人気曲に自ら作詞し歌った初のヴォーカルアルバムです。昨年行った「ラジオ関西後援 震災復興支援ライブ」テーマ曲をはじめ、新曲やピアノソロ曲も含む全8曲入です。現在、関東方面ではアルバム曲がカラオケ配信されています。ぜひ皆さま、お聴きください。

ひとこと Muse 後期の実技試験より曲目届けがスマートフォンでできるようになりました! 時間や場所を気にせず登録ができます。落ち着いて間違いがないよう入力し、締め切りを守って登録しましょう。





◀会場のお客さまとともに歌う



◀阿部和夫さん(右)と森俊英さん

東日本大震災により大きな被害を受けた宮城県石巻市の門脇小学校。かつて体験したことのない大地の揺れと迫りくる大津波のなか、児童や教職員、保護者などのように行動したのか？ 3月11日午後2時46分から12日朝までの約16時間を37人の「こぼ」で紡いだ映画「3月11日を生きて」の上映会を11月10日(日)にミレニアムホールで行いました。この映画の制作委員会代表・元石巻市教育長の阿部和夫さんとそのメンバーである元蛇田中学校長の森俊英さんが来阪。「豊中で上映が実現できたことを大変嬉しく思う」と挨拶されました。上映後には、石巻市出身の和泉耕二副学長作曲の歌曲「石巻・わがふる里」を本学クラリネットオーケストラと声

で勉強していきます。同コンクールでは梨谷桃子さん(大4)は横浜市民賞を、伊藤友祐さん(大4)は入選を果たしています。また、10月30日に東京オペラシティで行われた第82回日本音楽コンクール(毎日新聞社・NHK主催)作曲部門(室内楽)で杉本友樹さん(院2)が入選。大音生が実力を存分に発揮し、大健闘しました。



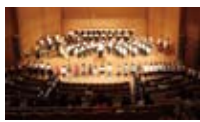
## 被災地復興支援・創立100周年記念プロジェクト 上映会と吹奏楽交流コンサートを開催

楽専攻生が演奏。配られた楽譜を手に会場のお客さまも一緒に歌いました。

同日、15時30分よりザ・カレッジ・オペラハウスにて、被災地復興支援として若手県立大榎高等学校と大阪府立桜塚高等学校それぞれが吹奏楽部、大阪音楽大学吹奏楽団による「吹奏楽交流コンサート」が豊中市との共催で行われました。ラストは3校全員の100名を超える奏者がステージに上がり、丸谷明夫特任教授の指揮のもと大合奏。満席の客席から大きな拍手が沸き起こりました。



▲吹奏楽交流コンサート



▲出演者とお客様まで大合唱!

大阪音楽大学と豊中央ライオンズクラブ、豊中市が協力し「豊中こども音楽フェスティバル」が9月29日(日)、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。オープニングは箕面自由学園高等学校吹奏楽部「ゴールデンベアーズ」によるマーチング。息の合った演奏



## 豊中こども音楽フェスティバルを開催

と演技で会場を賑わせました。本学からは中島優子さんと平勢夏海さん(ともに大4)、森脇麻帆さん(大2)によるフルートアンサンブルと肥後徹士さん(大専)、金井昴子さん、平田聖奈さん(ともに大4)、川原璃子さん、木下未恵さん(ともに大3)によるトランペット五重奏が出演。ラストに出演者と客席のお客さま全員で「翼をください」を大合唱。美しい声が会場全体に響き渡りました。



▼番組キャラクター「おき太くん」と



## 「おはよう朝日土曜日です」のエレク トーン ピアノ専攻の小椋寛子さん

前任者で大音卒業生の伊藤加奈子さんよりバトンタッチされ、朝日放送、おはよう朝日土曜日です(午前6時25分~8時)で10月5日(土)からエレク トーンを弾いている小椋寛子さん(大3)。子どもの頃からピアノとともにエレク トーンも弾いていたという彼女。土曜日は午前3時半起きでテレビ局に出勤します。「毎回とても緊張していま

すが、番組を観てくれる方に楽しい一日を送っていたただけるよう、心がけています。これからも笑顔で楽しく演奏していきたいです。



▲たくさんの模擬店も



▲次々とライブ演奏が繰り広げられた中庭ステージ



## 第67回全日本学生音楽コンクール 斉戸英美子さん(院1)が第1位を受賞

12月3日に横浜みなとみらいホール(小ホール)にて行われた第67回全日本学生音楽コンクール(毎日新聞社主催・NHK後援)の全国大会音楽部門大学の部で斉戸英美子さん(院1)が第1位を受賞しました。本学は昨年の野々村彩乃さんに続き2年連続の第1位受賞となりました。「審査結果に自分の名前が見えた時『これは本当なのか?』と目を疑い、驚きと喜びで震えが止まりませんでした。昨年、後輩の野々村彩乃さんが1位を受賞し、刺激を受けた私に先生が『受けてみなさい』と仰ってくださったのがきっかけで挑戦しました。これをバネにこれからも音楽を楽しん



▲第1位を受賞した斉戸英美子さん



## 2013年度大学祭 学内は大ハロウィンパーティー!

11月1日~3日に大学祭が行われました。恒例の中庭ステージでのコンサート、学祭プラス、オペラ研究部の発表をはじめ、バラエティ豊かな模擬店やバザー、図書館の古書リサイクルなど盛りだくさん。3日はあいにくの雨となつてしまいましたが、箕面自由学園高等学校吹奏楽部「ゴールデンベ

アーズ」が迫力ある素晴らしい演奏を披露。多くの近隣の方々も駆けつけてくださいました。



失礼します!

## 研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室におじゃまします!

今回お訪ねしたのは……

**上塚 憲一** 准教授

(担当科目:弦楽器(チェロ)、室内楽、専門合奏、オーケストラ、音楽基礎セミナー)O号館204号室

### 「年齢を重ねたからこそわかること」を学生に伝えていきたい

2003年に大阪音楽大学に赴任してから今年でちょうど丸10年。何度か移動はしていますが、ずっとO号館の2階がレッスン室兼研究室です。この部屋は、個人レッスン以外にカルテットや室内楽の合わせなどにも学生に解放して使ってもらっています。大きなチェンバロとグランドピアノ、愛用のマッキントッシュ。そしてチェロは約250年前のものが2台(モダン・チェロとバロック・チェロ)と1990年代の新しいものが1台(ピッコロ・チェロ)。これだけ置いてもそんなに狭さを感じません。

チェロの奏法をはじめ、さまざまなことを分析するのが大好きです。専門分野であるバロックについても研究テーマは尽きません。例えば、演奏時のピッチがそれぞれ国、もっとと細かく言えば町ごとにかなり違っているなんてことは調べ



▲所有の3台のチェロたちとともに



愛用の「iPad用」と「ドリンクホルダー」を取り付けた手作りの譜面台

ば調べるほどおもしろい。

現在、バロック演奏の世界基準はA=415Hzといわれていますが、420Hzや390Hzなんて場所も。アーノンクールさんの本にもあるように、「ドレミファソラシド」が今と同じような音程ではなかったのではないかと。町によって音階の音程もかなり違う、うけの良い曲悪い曲があったなど、さまざまな説があり興味は尽きないですね。

年齢を重ねてくると残念ながら「できないこと」が増えてきます。でも、年齢を重ねたからこそ「わかってきたこと」も増える。レッスンや授業では、学生たちにその「わかってきたこと」を伝えたい、といつも心に留めながら教えています。音楽にのめりこむことができる貴重な学生時代、もっともっと積極的に過ごしてほしいかと願っています。

「新国立劇場 高校生のためのオペラ鑑賞教室」の関西公演「夕鶴」が10月30日、31日に尼崎のアルカイックホールにて行われ、30日には、つう役に石橋栄実准教授が、31日には卒業生の榎貴志さんが出演しました。これは、新国立劇場のシーズン公演と全く同じ演出・舞台美術・フルオーケストラでの本格的なオペラを、高校生に鑑賞して

## 「高校生のためのオペラ鑑賞教室」つう役に石橋栄実准教授

もらうもの。

「新国立劇場には大音関係者が多くおられて心強く、いつも温かく迎えていただき感謝しています。在学中、ザ・カレッジ・オペラハウスで、作曲家の團伊玖磨先生にご自身が指揮された「夕鶴」を観て以来、心に強く残っていたつうへの挑戦、幸せでした。多くの高校生にとっては初めてオペラを観

る機会となるこの公演。オペラの印象を決定づける大切な舞台です。「また観たい」と思っていただけのように緊張感をもって臨みました。本番では、涙を拭う高校生も多く、感動を持って帰ってくださったならこれ以上の喜びはありません。来年の演目も「夕鶴」です。高校の先生方にはぜひ、課外授業としてオペラ鑑賞をご計画いただけますと幸いです。」(石橋栄実)。



▼撮影:三枝近志



## Daion Report

学生が見た!聞いた!海外体験をお送りします。

前富 秀介さん(大専・フルート)

### 緊張から解放してくれた「先生の言葉」

夏休みにフランスのティニューで行われたムジークアルプ夏期国際音楽アカデミーに参加しました。講習会ではジャン・フェランディス先生とアンドラシュ・アドリアン先生のクラスで学びました。フェランディス先生がおっしゃったことで、特に印象深かったのは、「常に“自然”に、そして“音”を吹くのではなく“音楽”を奏でなさい」という言葉。今まではミスを恐れるあまり、体がこわばり緊張して自分の思うような演奏ができないことが多かった僕にとって、そこから解放される一言でした。またアドリアン先生からは、横隔膜の使い方を実践的に学びました。フルートを吹く時にはお腹の支えを意識するように言われることが多いのですが、僕の場合はお腹を緊張させすぎて音が硬くなっていることがわかりま

▶夜のエッフェル塔は幻想的



▲フェランディス先生と一緒に

した。先生は大阪から来た僕に「マイド、オオキニー!」と話しかけてくださり嬉しかったです。

現地ではフランス、アメリカ、ブラジル、インド、スペインなどたくさんの国籍の人と交流しましたが、みんな積極的に自分の意見を主張し、なんのためらいもなく納得するまで質問を続ける人が多かったです。練習後はBARに自然と集まり、楽しく自分たちの国や言葉について語らい、一緒に踊ったり歌ったり。すべての時間を練習に使うのではなく、美しい景色を見たり友人とお茶を飲んだり、気持ちにメリハリをつけて生活することが自分の人間性を高めていくのだと感じました。

▶アドリアン先生の「オウカクマク」の使い方」レッスン





## ドイツ・バロックを多彩に彩る作曲家たち

今回はドイツ・バロックについて、バッハに絞ってその名曲をご紹介しましたが、やはりバッハだけではカバーし切れません。今回あと二人の作曲家を追加しておきたいと思います。

一人は、ドイツで生を受け、後にイタリアに渡り、さらにイギリスに移住してかの地に帰化して活躍したヘンデル (1685～1759) です。彼には、オペラ、オラトリオをはじめ、多様な器楽作品が残っていますが、一つ選ぶとすれば、やはりオラトリオということになるでしょう。管弦楽、独唱、合唱を巧みに用いて、まるでオペラを思わせるような、多彩で劇的な世界を展開した数多くのオラトリオ。それは、彼がそれまで培ってきた多くの作曲のノ

ウハウが集約された魅力的な世界を展開します。その中で最も有名な作品が「メサイア」(1741) です。我が国でもクリスマス・シーズンになれば盛んに演奏される曲ですので、実演でもぜひ耳にしてほしいものです。

もう一人は、当時ドイツで、バッハやヘンデルをも凌ぐ名声を誇っていたテレマン (1681～1767) です。ハンブルク市の音楽監督であった彼は、一般の市民が楽しめる肩の凝らない膨大な数の作品を残しています。バッハのような精神的深さよりも、平明な楽しさを狙った彼の作品は、聴いているだけではそのおもしろ味がわかりにくく、弾けば俄然そのおもしろさに取り憑かれてしまいます。例えば3

### 今回の推薦曲

- メサイア:ガーディナー指揮  
イングリッシュ・バロック・ソロイスト  
[◎:CDA8-III]
  - ターフェルムジーク  
(ムジーク・ドゥ・タープル):食卓の音楽  
ゲーベル指揮 18世紀カメラータ  
[◎:CDL8-VI]
- ※◎は図書館請求番号を表しています

集からなる「ターフェルムジーク」(食卓の音楽) (1733) を聴いて興味を感じた人は、本学の音楽学専攻で開設されているチェンバロやガンバやリコーダーを履修して、演奏にチャレンジしてみてもはどうでしょう。きっと新しい世界が開けますよ。

2013年10月12日(土)、14日(月・祝)

ザ・カレッジ・オペラハウス

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団  
第50回定期演奏会 第50回オペラ公演  
20世紀オペラ・シリーズ  
B. ブリテン作曲

## 「ピーター・グライムズ」



B. ブリテン生誕100年の今年、本学ザ・カレッジ・オペラハウスでの公演が日本で唯一の公演となった「ピーター・グライムズ」。指揮にはザ・カレッジ・オペラハウスでのオペラでは初登場となる高関健氏。演出には本学客員教授の中村敬一氏を迎え、ピーター・グライムズ役の小餅谷哲男氏をはじめ大活躍のソリスト達と学生を含む総勢50名の合唱団が舞台を縦横無尽に動き回る、大迫力のステージとなりました。

●学生によるリポート  
出演者の一人として  
ストーリーに引き込まれました  
塩見 玲衣さん(院2・オペラ研究室)



この作品は「合唱オペラ」ともいわれるくらい大人数の合唱が必要とされます。学生選抜メンバーとして私も参加させていただけることとなりましたが、初めは「英語」「複雑な曲調」「歌う量の多さ」に四苦八苦。冒頭はいきなり裁判シーン。暗くて重いオペラだなという印象でした。しかし、稽古が進むにつれこの壮大な音楽とその中にあるストーリーに引き込まれていきました。周りの人々がピーターを追いつめる。今の世の中でも日々ニュースで流れているような、気づけば隣で起きているような、知らぬ間に自分もその周りの一員になっているかもしれないような……そんなことを感じて、とても考えさせられるオペラでした。

そして、なんととってもいつも客席から見ているキャストをこんなに間近で感じられたことがとても勉強になりました。舞台袖では何かを得ようと必死にキャストを見つめる学生メンバー。私もこれからの学生生活に生かしたいです。来年のオペラシリーズも今から楽しみです!

## Concert Report

注目の演奏会や公演の様子を紹介します。



2013年11月14日(木) ザ・カレッジ・オペラハウス

### 第25回 ザ・コンチェルト・コンサート

選抜学生による協奏曲演奏会。ピアノ、サクソフォーン、トロンボーン  
の4名の学生が大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団と共  
演しました。



▲松山 美穂(大2・演奏家特別コース)



▲岩崎 由起子(短専・サクソフォーン)



▲橋田 達郎(大2・トロンボーン)



▲井上 千尋(大2・演奏家特別コース)

2013年10月30日(水) ザ・カレッジ・オペラハウス

### 第10回 ザ・ローレル・コンサート

2012年度最優秀賞受賞者による演奏会。パイプオルガン、ピアノ、ク  
ラリネットの4名が出演しました。



▲芹澤 紀子(オルガン専攻卒)



▲大谷 友美(ピアノ専攻卒)



▲山下 美緒(管楽器専攻クラリネット卒)



▲伏見 千紗都(演奏家特別コース卒)

2013年11月16日(土)

ミレニアムホール

### 創立100周年記念プロジェクト 作曲特別演奏会

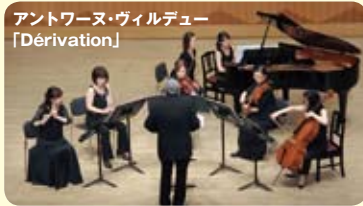
仏ビヤンクール地方音楽院教授であるジャン・リュック・エルヴェ氏、元院長のアラン・ルヴィエ氏  
と同校の学生による作品と本学院生による作品を客演としてフルート、指揮者のピエール・モン  
ティ氏らによって演奏。多彩な作品が披露されました。



柳原 美咲  
「La Mer」

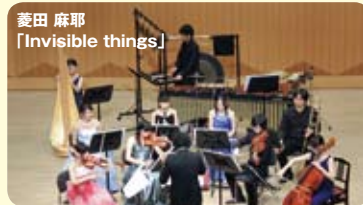


◀作曲した  
柳原 美咲さん  
(院1・作曲)

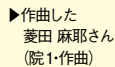


アントワヌ・ヴィルデュ  
「Dérivation」

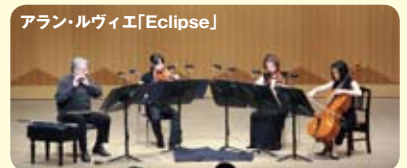
▲指揮はピエール・モンティ氏



菱田 麻耶  
「Invisible things」



▶作曲した  
菱田 麻耶さん  
(院1・作曲)

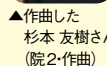


アラン・ルヴィエ「Eclipse」

▲フルートはピエール・モンティ氏



杉本 友樹「Switch Module」



▲作曲した  
杉本 友樹さん  
(院2・作曲)



ジャン・リュック・エルヴェ  
「En mouvement」

▲指揮のピエ  
ール・モンティ氏と  
作曲したジャン  
・リュック・エル  
ヴェ氏(写真右)

2013年11月05日(火) ザ・カレッジ・オペラハウス

### 大学院定期演奏会 2013

大学院生による演奏会。第1部は杉本友樹さんの(作曲)の新作初演、根本み  
ずきさん、桑沢美南さんのピアノ2台4手、田村響さんによるピアノ独奏。  
第2部は歌劇「仮面舞踏会」(抜粋)より独唱とアンサンブルを披露しました。



「ON-AR」



2013年11月18日(月) ミレニアムホール

### 第24回ザ・カレッジ・コンサート

選抜学生4人によるジョイント・リサイタルが催されました。



▲千葉 いづみ(大3・演奏家特別コース)



▲谷口 耕平(大4・声楽)



▲山下 真理奈(大3・クラリネット)



▲水谷 友彦(大2・演奏家特別コース)

ひとこと  
Muse

大音では在学生、卒業生、そして入学をご希望の全ての方にご参加いただける「facebook」「twitter」「LINE」を開設しています。  
大音HPのトップページよりそれぞれのバナーをクリックしてみてください。耳寄り情報がゲットできるかも！

「周りに就職活動をしている友人がいない」「就活の悩みや成果を話し合う仲間が欲しい」など、孤独になりがちな就職活動をサポートしてくれる講座をご紹介します。

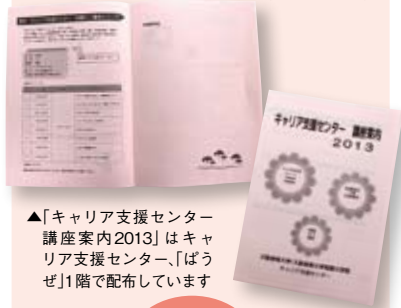
### 就職活動の力強い味方

昼休みの30分間を利用して気軽に参加できる「就職ミニ講座シリーズ」をご存知ですか？ 定員5人という少数で受講生同士の距離も近く、仲間をつくりやすいのも特徴。この講座はキャリア支援センターにて11月より全8回開講されています。2014年は1月17日(金)に「エントリーシート処方箋」、2月10日(月)に「めざそう、履歴書マスター」、2月19日(水)に「ミニ講座 総集編(過去7回分の復習)」を予定。昼休みの13:00～13:30の30分間で、就職に必要な知識や情報をキャリア支援センターのスタッフから効率的に学べます。「昼食をとる時間がない」とご心配の方、軽食の持ち込みもOKとなっています。食べながら聴いていただくことができますので、時間を有効に使えます。

参加ご希望の方はキャリア支援センターへ。また、当日の飛び込み参加も可能な場合もありますので窓口にてご相談ください。キャリア支援センター入ってすぐ右側の入り口付近で行っていますので、見学することもできます。

また、企業への就職希望者だけでなく、教職や音楽教室への就職希望の方にも有効な内容になっています。これから就職活動を始める方、活動中で不安を抱えている方、就職に興味がある方などどなたでもご参加いただけます。

詳しくは冊子「キャリア支援センター講座案内2013」をご覧ください。(担当 磯口)



▲「キャリア支援センター講座案内2013」はキャリア支援センター「ぼうぜ」1階で配布しています

まずはキャリア支援センターにお越しください



キャリア支援センター 諸江 和枝

# CAMPUS

学内の各部門・施設から、学生生活に役立つ情報をお届けします。

# Information

## 学生支援センター

卒業試験で人気なのは？

### 「ピアノの試験で弾く人気作曲家」

#### ランキング発表！

この号が出る頃には卒業試験も始まり、本格的な実技試験の期間に入ります。演奏する曲目が決まったあとはひたすら練習だと思えますが、他の人がどんな曲を演奏するのか、気になるところではありませんね。そこで、昨年(2012年度)の卒業試験で演奏された曲の人気ランキングを作曲家別に発表します。



体調を整えて試験に臨みましょう！

実技試験担当 牧野 浩子

#### [大学]

- ① F.F. ショパン
- ② F. リスト
- ③ R. シューマン
- ④ C. ドビュッシ
- ⑤ J. ブラームス
- ⑥ S. プロコフィエフ
- ⑦ A. スクリャービン
- ⑧ S. ラフマニノフ
- ⑨ P.I. チャイコフスキー
- ⑩ E. グラナドス

その他

- E. グリーグ、F. シューベルト、L.v. ベートーヴェン、F. メンデルスゾーン、G. フォーレ、M. ラヴェル

#### [短大]

- ① F.F. ショパン
- ② C. ドビュッシ
- ③ G. フォーレ
- ④ J. ブラームス
- ⑤ F. リスト
- ⑥ E. グリーグ
- ⑦ C. サン＝サーンス
- ⑧ R. シューマン
- ⑨ L.v. ベートーヴェン
- ⑩ E. グラナドス
- ⑪ J.S. バッハ
- ⑫ M. A. バラキレフ
- ⑬ F. メンデルスゾーン
- ⑭ M. ラヴェル

## 連携支援センター

### オペラ物知り講座

第4回「パーカッションのリズムがドラマの緊張感を高めます」

「オペラをピットから支えるインストゥルメント」

素晴らしいオケのソロ奏者を招いてオペラアリアを堪能してください。

日時:2014年1月21日(火) 18:30開演(18:00開場)

場所:ミレニアムホール 受講料:1000円

構成・お話:中村 敬一 演奏:安永 早絵子(Perc)、林 佑子(Sop)、西尾 麻貴(Pf)



### ミレニアムホール特別講座 ～レクチャー・コンサート～

第54回「スター・カップルが演ずる《デュエット・ガラ》」

歌よし姿よしのプリマ夫婦。とっておきのネタも用意して、ジョイント・リサイタルを開く。《カヴァレリア》《コシ・ファン》そして……お楽しみに。

日時:2014年3月1日(土) 14:00開演(13:30開場)

場所:ミレニアムホール 受講料:1000円

プロデュース・司会:日下部 吉彦 演奏:田中 勉(Bar)、田中 友輝子(Mez)、關口 康祐(Pf)



お問い合わせ

大阪音楽大学 連携支援センター

TEL 06-6334-2249 FAX 06-6335-2153 E-mail: renkei@daion.ac.jp

## ほっと一息 学生サロン「ぼうぜ」

### クリスマス特別メニュー登場！

恒例のクリスマスメニューが今年も登場します。「クリスマススペシャルDaionプレート」は12月20日(金)だけの限定メニュー。ドリアにクリスマスチキン、サラダ、スープ、そしてさらに昨年大好評だった手作りミニケーキが付きます(ケーキはなくなり次第他のデザートに変えさせていただきます)。あらかじめご了承ください。

価格は500円。ぜひご賞味ください！



※写真はイメージです

### フェア情報

2014年1月は大好評の「あったか麺フェア」、2月には「北海道フェア」を開催予定。熱々の麺と、北の大地が生んだおいしい北海道メニューをお楽しみに！





●=出演者 ■=場所 ◎=入場料 ☎=問い合わせ先

OH=ザ・カレッジ・オペラハウス MH=ミレニアムホール

## 大阪音楽大学主催公演

**2013年度大阪音楽大学短期大学部 電子オルガンコース・コンサート「フライング・ライブ 2014」**  
1/12(日)16:00～  
◎電子オルガン・コース在学学生 ■OH ◎1000円

**2013年度大阪音楽大学短期大学部 ポピュラーコース・コンサート**  
1/25(土)18:30～  
◎ポピュラー・コース在学学生 ■サンケイホールブリーゼ ◎1000円

**2013年度 大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 ジャズ・コンサート**  
2/13(木)18:30～  
◎ジャズ専攻・コース在学学生 ■MH ◎1000円

**大阪音楽大学短期大学部 ダンスパフォーマンスコース発表会**  
2/14(金)18:00～  
◎ダンスパフォーマンスコース在学学生 ■豊中市立ロース文化ホール ◎無料(要整理券)

**第25回 大阪音楽大学学生オペラ W.A.モーツァルト「魔笛」**  
(全2幕・原語(ドイツ語)上演・字幕付)  
2/15(土)18:00～ 2/16(日)14:00～  
指揮:小田野 宏之、演出:中村 敬一 ■OH ◎一般2000円、シルバー・小・中・高校生1000円

**2013年度大阪音楽大学短期大学部 ミュージカルコース 第3回試演会**  
2/20(木)18:00～  
◎ミュージカル・コース在学学生 ■MH ◎無料(要整理券)

**大阪音楽大学短期大学部 第19回 吹奏楽演奏会**  
2/22(土)17:00～  
指揮:丸谷 明夫、小野川 昭博、伊勢 敏之  
◎大阪音楽大学短期大学部吹奏楽団 ■OH ◎1000円

**大阪音楽大学 第45回 吹奏楽演奏会**  
3/2(日)15:00～  
指揮:北野 徹、丸谷 明夫 ◎大阪音楽大学吹奏楽団 ■ザ・シンフォニーホール ◎1000円

**大阪音楽大学短期大学部 2013年度卒業演奏会**  
3/15(土)17:00～  
◎2013年度成績優秀者による演奏会 ■OH ◎無料(要整理券)

**大阪音楽大学 2013年度卒業演奏会**  
第一夜 3/17(月)18:00～  
第二夜 3/18(火)18:00～  
◎2013年度成績優秀者による演奏会 ■OH ◎無料(要整理券)

お問い合わせ  
大阪音楽大学コンサート・センター  
TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

## 学生自主演奏会

**フルートオーケストラ第30回定期演奏会**  
12/19(木)18:30～  
◎大阪音楽大学フルート専攻生 ■OH ◎500円 ☎080-3782-5982(河村)

**Message**  
毎年12月に行っている定期演奏会も、今年で第30回目を迎えることとなりました。今回はそれを記念し、長山慶子先生と中務晴之先生にソリストとして共演いただきます。皆さまのお越しを心からお待ちしております。

**第43回打楽器オーケストラ演奏会**  
12/22(日)14:00～  
◎大阪音楽大学打楽器専攻生 ■OH ◎500円 ☎090-1226-4093(太田)

**Message**  
打楽器の創り出す音の魅力を少しでも皆さまに感じていただけるよう、日々練習に励んでおります。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

## 大阪音楽大学後援演奏会

**鳥居知行ピアノリサイタル**  
12/19(木)19:00～  
■兵庫県立芸術文化センター小ホール ◎3000円 ☎06-6135-0504(大阪アーティスト協会)

**第47回幸楽会コンサート**  
1/13(月・祝)14:00～  
◎田中 勉、小川 哲生 他 ■OH ◎1000円 ☎06-6334-2832(幸楽会)

**戸川見子&次郎丸智希デュオ・コンサート vol.2 ～MUSEUM 新春の響き～**  
1/26(日)14:00～  
◎世良美術館 ◎一般2500円、学生2000円 ☎078-822-6456(世良美術館)

**ミュージカル「寝屋のはちかづき」**  
2/1(土)11:00～、15:00～  
構成・演出:羽鳥 三実広、作曲・編曲:森本 友紀、脚本・作詞:油井 宏隆、羽鳥 三実広  
◎アルカスホール ◎3000円 ☎090-3970-1819(森本)

**高嶋(堅田)京子ピアノリサイタル in NZ**  
2/28(金)18:30～  
◎堅田 京子、高嶋 レイモンド、松林 恵 ◎未定  
◎オークランド市ホープタウンアルファ(ニュージランド) ☎072-286-3180(堅田)、010-64-9-428-0675(高嶋[NZ])

## 幸楽会後援演奏会

**橋本恵史のお愉しみ会 vol.2 ～ハシモトケイジ七変化～**  
1/11(土)18:00～ ■MH ◎要整理券 ☎wm-project@live.jp(橋本)

**松林靖子 松本美菜子 ジョイントコンサート**  
1/12(日)16:00～  
◎ムラマツリサイタルホール新大坂 ◎2000円(当日2500円) ☎(FAX)0798-71-6246(松本)

**小山雄司ファミリーコンサート**  
1/13(月・祝)15:00～  
◎小山 雄司、黒田 恵美、小山 敦子  
◎ザ・フェニックスホール ◎4000円 ☎06-6135-0503(大阪アーティスト協会)

**垣内昌子 ソプラノリサイタル**  
2/1(土)14:00～  
◎宝塚ベガホール ◎2000円 ☎090-3675-8411(垣内)

## 動画サービス「ON-AR」がスタートします!



スマートフォンを「Muse」にかざすと動画が再生されるサービスが始まります。まずはAppStoreまたはGooglePlayで「cocoar」と検索し、アプリ(無料)をインストールしてください。その後、今号の広報誌「Muse」Vol.228の中の「ON-AR」マークが付いた写真にARカメラアプリをかざすと動画が再生されます。

### 今号は次の3つの動画を見てみよう!

●表紙連動企画「大音生に聞きました!」  
表紙全体をかざしてみよう!今号は大音生に聞く「2014年アナタは何を頑張りますか?」。表紙に登場している学生の皆さんが答えます。

●Muse de Concert  
P13「ConcertReport」の大学院定期演奏会の写真をかざすと大学院定期演奏会フィナーレの様様を見ることが出来ます。

●動画ニュース「Daion collection」  
大音のいろいろな場所に潜入!今号は「音楽学の授業に潜入!?!」。音楽学ってなに?授業はどのように行われているの?実際に授業が行われている教室に潜入してみました。アナタもちょっと覗き見してみませんか? さっそく右の写真をかざしてみよう!

さっそくスマホをかざそう!

### まずはアプリをダウンロード!



Google play



iTunes App Store



▲「音楽学演習」担当:井口淳子教授

## 編集後記

次号は3月14日発行予定です

より「立体的に楽しめる広報誌」を目指し、Museは紙面に加えて動画も楽しんでいただけるようになりました。演奏会や授業の様子、そして学生が生き生きと学生生活を送る姿をリアルに感じていただけたと思います。またfacebook、twitter、LINEでリアルタイムに情報を発信しています。ぜひチェックしてみてください!(は)

## 最新情報を配信中!

こちらのSNS配信サービスからも大音情報をチェックできます。



@ocm\_t



@daion



iTunes App Store



Google play

学校法人 大阪音楽大学広報誌「Muse」vol.228 2013年12月16日発行  
●発行:学校法人 大阪音楽大学 〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 TEL:06-6334-2904 FAX:06-6334-2141 <http://daion.ac.jp>  
●制作・編集:広報室 muse@daion.ac.jp  
●デザイン協力:(株)産業編集センター



文・イラスト 武藤 好男

## 私がどう考えようが 世界は変わりはしませんが……

グローバル化という世界の一元化が進んでいます。特に経済の面では、「グローバルスタンダード」という名の下に資本主義的な価値基準が世界を支配しています。しかし、それで私たちは幸せになったでしょうか。確かに私たちの生活は豊かで便利になりました。でも、金融危機に怯え国家的な規模での経済破綻が取り沙汰されたり、またそれが個人の生活までも脅かすような状況はどこか異常です。思えば20世紀の後半、冷戦という名の下に核兵器による人類滅亡の危機がやっと解消された(だからといって核兵器がなくなったわけではありません)と思ったら、この有様です。

エコノミー(経済)とエコロジー(生態学、現在は環境保護という意味で使われる)、同じ語源を持つこの2つの言葉は今や両立し難い対立概念のようです。いかにして経済発展と環境保全の間に折り合いをつけるのか、21世紀の課題と言えそうです。私たちは損得勘定で生きています(今なら500ポイントプレゼント! で得した気分になりませんか?)。でも原点に戻ってみれば、死んでしまえば損

も得ありません。19世紀イギリスの思想家ジョン・ラスキンが言うように「生以外に価値はな」く、生を維持するのは「きれいな空気と水と大地」です。人間の欲望には限りがありません。でも、よく考えてみてください、金持ちになりたい、金持ちになったら何でもできると考えてはいませんか? でも、お金自体には何の価値もありません。無人島で甲子園球場1杯分の1万円札を持っていても餓死するだけです。お金が持っているのは交換価値であってそれ自体はただの紙切れです(これって、音楽に似ていませんか? 役に立たないところが)。でも、金融危機が起これば甲子園球場1杯分の1万円札なんか一瞬にして消えてしまいます。それもハイパー空間でデータとして処理されておしまいです。それで多くの人が路頭に迷うことになります。

人間は、残念ながら夢や理想では生きられませんし、有効な打開策があるとも思えません。でも、一人ひとりがこれを意識すること自体がグローバル化すれば、長い目で見るともう少し生きやすい世界になる可能性が生まれるのではないのでしょうか。



たかはし とおる ● 学生時代からずっと大阪音大に居続けるも所属は転々。何をしてもそれが美の追究であれば良いと考えている。中庭の喫煙所に頻繁に出没する。

## 知識や技術のリンクでスタイルが決まります

教養教育・准教授 高橋 徹

教員  
リレー  
エッセイ  
Vol.10

今回は風貌が似ているのかしばしば間違えられ、家が近所の木村 真仁先生(ユーフォニアム)にゆだねます

「専門は?」と聞かれるといつも困ります。出身は作曲で、今までに担当した科目はソルフェージュ、指揮法、編曲法、吹奏楽、AV機器、DTM情報処理、コンサート企画など一貫性がありません。自分でもわからないので調べてみました。本書のホームページでは「情報処理」、図書館のOPAC検索の典拠やウィキペディアでは「指揮者、編曲家」となっています。やはりわかりません。

でも節操なくやってきたよかったです。さまざまな科目を担当して、さまざまな学生と接することは生きがいですし、手広い経験はいろいろと役立ちます。宣伝のように恐縮ですが、2年前に出したCDでは企画、編曲、指揮、録音、編集のすべてをやりました。「こう書いたのだからこう演奏してこう録ってこう編集すればこうなるはず」と常にゴールを見据えている仕事です。特に「幻想交響曲」の「自身の葬儀の鐘」はしてやったり。あいにく死後の世界には行ったことがないので想像するしかありません。イメージ通りの鐘を求めて開園時刻前のハウステンボスに入らせてもらってカロヨンシンフォニカに展示されているすべての鐘を録音したりもしましたが、結局は通常のカリヨンを録って加工してオケの録音にミックス。趣味で身に付けた波形編集の技術が役立ちました。

身に付けた知識や技術をどうリンクさせるかでその人のスタイルが決まります。たとえば私の編曲には管弦楽法や和声法に「クラリネットは閉管で偶数倍音が弱いからピッコロにはこの音を」などと音楽音響学をリンクさせたり、自分専用のスタイルがあります。「専門には関係がないから」と学科系の科目に熱心でない学生を見かけると、とてももったいないと感じます。自己のスタイル形成のきっかけは文学や外国語や体育にあるかもしれないし、人生のどこで何が役立つのかもわからないのですから。

しっかりとキャリアデザインを描かなかった成れの果てが今の私です。よい子はまねをしないように。でもキャリアデザインをうまく描けない人や、描いたとおりにならず悩んでいる人には参考になるかもしれません。

